（様式－３）

送 電 線 工 事 災 害 報 告 書 （再発防止対策書）

関東支部

発生日時	令和４年７月６日（水曜日）　８時30分頃							天　候		曇り	
災害の程度	死亡－名		負傷１名		職種：基礎作業員			年令33歳		経験年数２年	
工事の種類	調査測量	伐　採	運　搬	仮　設	基　礎	組　立	足　場	架　線	撤　去	その他	
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他			
原　　因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他				
設　　備	電圧275kV	２回線	電線　－　㎟　－導体			地線　－　㎟　－条					

件名	杭打ち機に取り付けた回転反力取り装置と鉄板の間に左足をはさまれ負傷
災害の状況	被災者は，作業員Ａとともにクローラクレーンのフックへ取り付けてあったハンマーグラブ※1を外すため，仮置き予定箇所へ移動した。また，作業責任者(杭打ち機オペ)は，杭打ち機を始動させることを作業員全員にインカムを通じて伝えた。 被災者は，杭打ち機上での作業のため，前日から回転反力取り装置※2上に置いたままにしていた墜落制止用器具を取りに行き，装着を始めた直後，杭打ち機に高い回転力が加わったことで回転反力取り装置が約 20 cm動き，その横にいた被災者の左足が回転反力取り装置と鉄板の間(約5cm)にはさまれ負傷した。 ※1 ハンマーグラブ　：杭掘削のための機械 ※2 回転反力取り装置：クローラクレーンと杭打ち機を繋げる装置であり，杭打ち機に大きな回転トルクを発生させることが可能になる ［被災程度］左第３中足骨開放骨折・左足底皮膚剥脱 ［装　　備］作業服上下，安全帽，安全長靴（先芯入り），革手袋，空調服
原因及び対策	1. 災害発生の主原因 (1) 元請会社は，回転反力取り装置の注意ポイントを施工計画書に明記しなかった。また，作業現場への立入禁止区画や注意喚起等の物的対策を講じなかった。 (2) 被災者は，回転反力受け装置の注意ポイントを認識していなかった。 (3) 元請会社は，作業員に対して回転反力装置の注意ポイントを教育し対応を指示しなかった。 2. 再発防止対策 (1) 元請会社は，回転反力取り装置は不意に動くもので，不用意に近づかないことを施工計画書に明記する。また，作業現場には立入禁止区画や注意喚起等の物的対策を講ずる。 (2) 事業者は労働者（または，元請会社は作業員）に対して，回転反力取り装置は不意に動くことを再教育し，不用意に近づかないことを指示する。労働者は，回転反力取り装置が不意に動くことを認識し，不用意に近づかない。

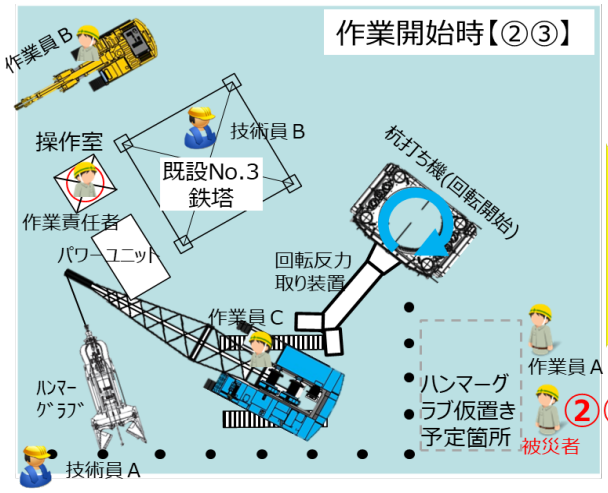
（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし，「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。
2. 災害状況の説明と共に，なるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物，電線の離隔距離その他寸法を記入する。

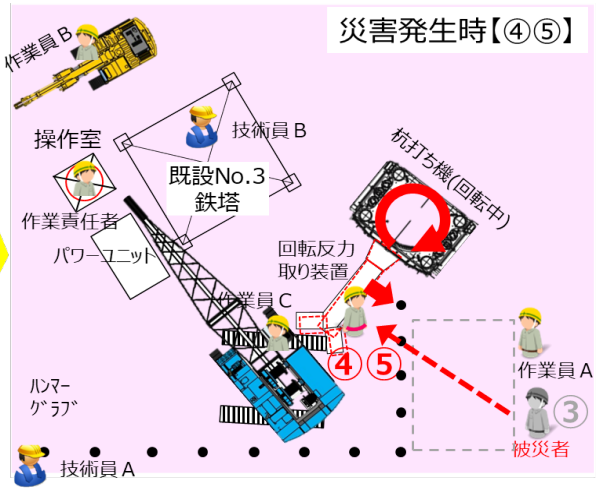
（様式－2）

災　害　概　要　図

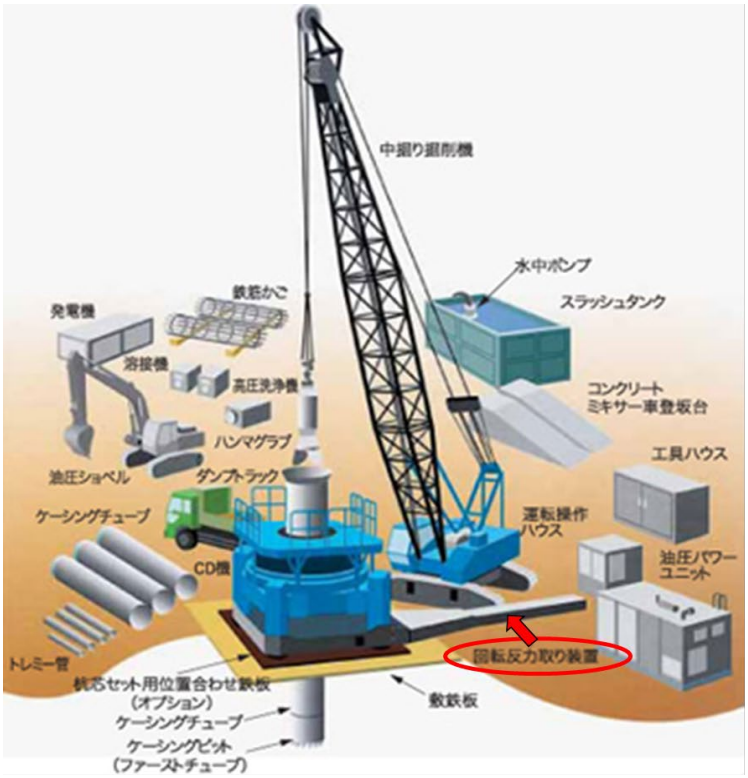
災害発生状況

①被災者および作業員Ａは，TBM-KY時に作業責任者より杭打ち機近傍のハンマーグラブ仮置き予定地でハンマーグラブを外す指示を受けた。
②被災者および作業員Ａは，ハンマーグラブを外すため仮置き予定箇所へ移動した。（休憩小屋から直行）
③作業責任者(杭打ち機オペ)は，杭打ち機を始動させた。（杭打ち機の始動をインカムで作業員へ伝えた）
④被災者は，前日から回転反力取り装置上に置いたままにしていた墜落制止用器具を取りに行き，その場で装着を始めた。（作業責任者へその場で装着していることをインカムで伝えなかった。）
⑤作業責任者が杭打ち機に高い回転力を加えたことで回転反力取り装置が約20cm動き，横にいた被災者の左足が回転反力取り装置と鉄板の間にはさまれ負傷した。





被災状況



機器配置状況

被災状況図(再現イメージ)